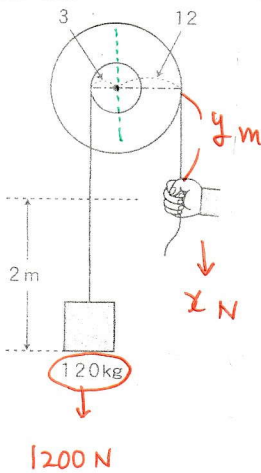


(2)



[A] 物体がされた仕事

$$1200 \text{ N} \times 2 \text{ m} = \underline{2400 \text{ J}}$$

[B] 手がした仕事

① 技 1 を使って

$$3 \times 1200 = 12 \times X$$

$$3600 = 12X$$

$$X = \underline{300 \text{ N}}$$

② 技 2 を使って.

$$3 : 12 = 2 : y$$

$$3y = 24$$

$$y = \underline{8}$$

$$300 \text{ N} \times 8 \text{ m} = \underline{2400 \text{ J}}$$

手がした仕事を求めるには

何 N の力で引、張っているのか？

何 m 下に引、張っているのか？

この2つを先に求めなければいけない

① 技 1 ... 円の中心を境に、おもりの側の距離と重力をかけたもの

3

1200 N

と.

手側の距離と重力をかけたものは等しい

12

X N

② 技 2 ... 円の中心からの長さの比と動いた距離の比は等しい

3 : 12

0.2 m : y m

てこと 輪軸は全く同じやり方でできる